

ウズベキスタンのダンスでリズムカルに盛り上がる！

5月10日・14日にせんとびゅあI・講堂で「ウズベキスタンおもいきりDANCE教室」を開催しました。10日は28人、14日は30人が参加し、ダンスの練習をしました。



ウズベキスタンのナルギーザ(ナノ)CIR(国際交流員)が企画したこの教室は今年で3回目。だんだんと参加者が増えています。民族ダンスや若者の踊りをベースに考案したオリジナルの振り付けをナノさんと2人の娘さんが披露したのち、参加者に指導していきましました。時にはピスタチオやウズベキスタンのお菓子をつまんで休憩した

がらみんな一生懸命に体を動かします。手首にジンゲル(鈴)をつけ、音楽に合わせてステップをきかせると一気にウズベキスタンらしい雰囲気。参加者からは「異国の文化に触れられて面白い」との声。練習終了後、前回の参加者が「前の踊りも見せたい」と自主的にダンスを披露する熱狂っぷりでした。

今回練習したダンスは、8月下旬に開催予定の『ウズベキスタン文化紹介特別プログラムin東川』で披露する予定です。昨年は百人以上が集まり大盛況でした。ご期待ください！

「ソングクラン祭in東川」でタイの文化を体験

4月21日、「ソングクラン祭in東川2019」をせんとびゅあIで開催しました。ソングクランはタイ王国の旧正月を祝う祭りで、「水かけ祭り」とも呼ばれます。

タイのスマッタCIR(国際交流員)の企画で、昨年に続き2回目の開催。

今回は118人が参加しました。

講堂ではタイからの留学生50人がタイの食事や文化などを紹介し、民族舞踊やキム(琴に似た弦楽器)やシン(小型のシンバル)の演奏を披露。来場者みんなで「ソングクランの踊り」(動きは盆踊りに類似)を踊りました。

ワンディーツェンフンベトナム料理でワウワウ

4月21日、ひがしかわ食堂・ワツカ(せんとびゅあI内)のワンディツェンフン企画として、ベトナムのトゥーCIR(国際交流員)監修によるベトナム料理を提供しました。



メニューはブン チャー(レモングラスで味付けした冷製スープに焼肉が入ったつけ麺)、チエー チョイヌオック(白玉団子のココナッツしるこ)。ベトナムといえばフォー(平麺)が有名ですが、ベトナム国内では実はブン(丸麺)の方がメジャー。米粉が原料の麺は千種類ほどあり、実に多種多

彩です。レモングラスが豊かに香るスープや米粉麺に、お客さんからは「初めて食べる味、おいしい！」との声。チエーチョコイヌオックはココナッツの優しい甘さとナッツのアクセントが食後の喉を潤します。

限定50食の料理は開店から1時間ほどで完売する人気ぶり。今回のレシピをはじめ、ベトナムについて知りたい方はお気軽に交流促進課トゥーCIRまでご連絡ください。

その後は会場を自由に回ってマッゲップ(石を使った昔の遊び)、グラドードヤーン(ゴム跳び)、ラムタイ(ポーズで感情を表すタイの踊り)、セパタクロー(球技)、ワイ(挨拶のしかた)などを体験しました。



タイ舞踊「ラムクワンカーオ」=田植えから収穫までを表現した踊り=

せんとびゅあIの野外広場では祭りの醍醐味である「水かけ」を開催。まだまだ肌寒い風が吹く中、子どもや留学生は水鉄砲やバケツで水をかけ合って本場の雰囲気を楽しんでいました。